

地 球 温 暖 化 対 策 実 施 状 況 書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	医療法人純正会
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	名古屋市中川区荒子二丁目40番地
工場等の名称	名古屋市立緑市民病院
工場等の所在地	名古屋市緑区潮見が丘1丁目77番地
業種	医療、福祉
業務部門における 建築物の主たる用途	病院・医療関連施設
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	医療
計画期間	令和3年4月1日 ～ 令和6年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和4年7月19日 ～ 令和4年10月17日		
公表方法	○	掲示 閲覧	（場所） 名古屋市立緑市民病院 南館1階エレベーター前
		ホーム ページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-892-1331		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

「本来の病院の機能を損なうことなく、業務の見直しをしながら、地域と連携しつつCO₂排出量の削減に取り組む」

- 1) 節電、その意識の徹底
- 2) 業務の簡素化、ムダを減らす取り組み
- 3) 地域との連携、体制の強化（医療資源の有効活用）

(2) 地球温暖化対策の推進体制

【運営会議】

委員長：山本院長

副委員長：徳田副院長

委員：各所属長

↓

全従業員

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 3 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,757	t-CO ₂
（①を 二室を 酸効除 化果く 炭ガス 素換算 排出量）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		1,757	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 2 年度		令和 5 年度		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
温室効果ガス 総 排 出 量	1,729	t-CO ₂	1,677	t-CO ₂	1,757	t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			3.0	%	▲ 1.6	%		%
温室効果ガス みなし総排出量						t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%	%	%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 2 年度		令和 5 年度		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
原単位あたりの 排 出 量								
削減率（対 基準年度）			%		%	%	%	%
原単位あたりの みなし排出量								
削減率（対 基準年度）					%	%	%	%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

計画1年度目において総排出量の目標を達成できなかった。基準年度と比較し、ガス使用量は減少したものの、電気使用量が増加し、排出量が増えた。原因としては、空調全体の老朽化に伴い、病院内各所に個別空調を導入していることが電気使用量増加の一因となっている。また令和2年度に引き続き、昨年度も新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、院内各所で換気を行っていることが、空調機器に負荷をかけていると考えられる。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

[illegible]

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目（令和 3 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 1 年度目（令和 3 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

○ゴミの排出に関して 積極的に裏紙を使用している他、紙ごみについて各部署に回収BOXを設置し、資源ごみとしての回収に努めている。

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

特になし
